

健康生きがいづくり・とちぎ

http://www18.ocn.ne.jp/~t-ikigai

～第 10 号～
栃木県健康生きがいづくり協議会
平成 21 年 7 月 15 日 発行
発行責任者 森山 京逸
編集責任者 藤田 三男
事務局(長尾) 0287-37-3431

栃木県健康生きがいづくり協議会 新体制発足

平成二十一年度 定期総会を開催

平成二十一年度設立後、十周年を迎えた定期総会が、四月十九日「とちぎ健康の森」にて会員十五名参加のもと開催された。

- 第一号議案 平成二十一年度活動実績並びに収支決算について、会計監査報告
- 第二号議案 平成二十一年度活動計画(案)、収支予算(案)
- 第三号議案 「役員改選(案)」
- 第四号議案 「会則の一部改正(案)」

が、何れも満場一致で承認可決された。
今年度より三名の新入会員を迎え、森山新会長のもと、新しい船出となった。
総会後、新入会員歓迎食事を開催し、自己紹介などを交わり和やかな時を過ごした。

総会風景



就任のご挨拶

会長 森山 京逸



この度、四月十九日に開催されました栃木県健康生きがいづくり協議会の平成二十一年度定期総会におきまして、当協議会の会長に選出されました森山京逸でございます。当協議会は設立されて十年を経過いたしました。

この間、歴代の会長はじめ役員の方そして会員の皆様の多大なご努力により事業活動も活発に拡大され、成果が着実に実って来ました。この節目の年に会長職を引受ける責務の重大さを痛感致しております。大変微力ではございますが、当協議会の運営と発展の為に事業活動の推進と仲間づくりに努力いたす覚悟でございます。どうぞ宜しくご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

前会長伊藤康子様へ

これまでの一カ年間に会長職として当協議会の発展のために多大なご尽力を賜りましたこと心から感謝とお礼を申し上げます。伊藤様が築かれた生きがいのある栃木健康協をこれからも維持向上すべく努めて参りますので何卒よろしく指導・鞭撻下さいませ。よろしくお願い致します。

森山 京逸

前会長伊藤康子様が「みんなで行う生きがいある協議会」の「フロントガンキャッチフレーズ」を掲げ、すばらしいリーダーシップを発揮されて、各々の専門部会の活動に輪がひろがり「新たな基盤づくり」ができました。このことは、当協議会の運営の基本指針となりました。

私はこの「フロントガンキャッチフレーズ」を継続いたし実行して参ります。そして時代の変革にしっかりと向き合って、当協議会の目的達成のためにどのような歩みをなすべきかを会員の皆様と一緒に話し合い、考え、理解を戴きながら、事業の推進を図りたいと思っております。

広報部会、事業部会、研修部会でそれぞれ事業活動計画・企画が立案され、その実行には会員の全員が参加参加画され、楽しく充実感を持ち合える運営に努めて参ります。また新会員の拡大に全員が募集活動にも協力して多くの仲間づくりが推進できますことを期待いたしております。

当協議会から全国の健康生きがいづくりアドバイザーの仲間へ事業活動の紹介や提案など新鮮な情報がたくさん発信できますように皆様の格段のご協力ご支援をお願い申し上げます。

平成 21 年度定例会開催予定

- 平成 21 年 6 月 7 日(日) 実施済み
 - 平成 21 年 8 月 2 日(日)
 - 平成 21 年 10 月 4 日(日)
 - 平成 21 年 12 月 6 日(日)
 - 平成 22 年 2 月 7 日(日)
 - 平成 22 年 3 月 14 日(日) 役員会
- 場所：宇都宮市 とちぎ健康の森 他
時間・場所は事前に案内します
会員各位の出席をお願いします

今号の主な記事

- 平成 21 年度定期総会を開催
- 森山会長就任挨拶
- 各専門部会平成 21 年度活動方針
- 広報部会、事業部会、研修部会
- 新入会員紹介
- 平成 21 年度健康生きがいづくりアドバイザー養成講座開催計画
- 如月 49 栃木大会を那須で開催
- 第 1 回「知る栃・オトナの探勝会」を開催
- 「歩こう会」実施計画
- 平成 21 年度定例会等開催予定

平成二十一年度 各専門部会の活動計画

広報部会の活動方針

広報部会長 森山京逸

今年度は次の事項についてしっかりと実行して参りますので皆様のご協力をぜひお願い致します。

- 一、当協議会の事業部会、研修部会の行事等に連携を密にして広報活動的に行い、支援する
- 二、ホームページのより充実を図る
- 三、会報を年三回(七月、十一月、三月)発行し、内容のより充実を図る
- 四、会報の配布拡大に努める
- 読者の拡大(市町村、関係団体等に) 定期配布する
- 五、財団、他地区協議会との情報交換、連携を図る

事業部会の活動方針

事業部会長 溝口 清

二〇〇九年度の事業部会長を拝命致しました溝口です。どうぞよろしくお願い致します。

昨年度は、栃木健康協会の持てる力の調査で皆様に「ご協力を頂きましたが具体的な活動の方向を見出すまでに至らず、成果を出すことが出来ませんでした。その反省に立ち、本年は継続的に実行できる地道な活動を実施して参ります。

二〇〇九年度の具体的な活動は、「生きがい活動」として、栃木県を知り、楽し

今年度の「歩こう会」計画

今年度は3回の実施を計画しています。ご家族・友人をお誘いのうえ多数の会員の参加を期待しています。ランチと温泉も楽しめます。

- 第1回 7月14日(火) (実施済み) 今市 杉並木と丸山公園
- 第2回 9月7日(月) 高根沢町 史跡めぐりコース
- 第2回 11月6日(金) 芳賀町 梨の里コース

む、「知る栃オトナの探勝会」を新しくスタートします。また、昨年から継続ですが、栃木県のメタボ防止し隊「活動と連携した活動」として「歩こう会」を開催します。

「知る栃オトナの探勝会」は、栃木健康協会以外の方々にも参加を呼びかけ、栃木県及び近隣の観光地や工場等の見学を織り込みながら、訪問地のボランティアさんに観光ガイドをお願いするなど、一味違った知的なイベントになるように企画展開して参ります。

また、情報登録活動推進として、広報部会の協力を頂きながら、地域の公的団体やボランティア組織に団体登録を積極的に行い、栃木健康協会の活動情報の発信をして、イベントへの参加者拡大を図りたいと考えています。

会員の皆様の事業部会へのご支援をどうぞよろしくお願い致します。

研修部会の活動方針

研修部会長 島方正敏

平成二十一年度の研修部会は主担当事業として、従来の健康生きがいきづくりアドバイザー養成講座の他に講師活動が加わりました。

養成講座について

「最近財団より「健康生きがいきづくりアドバイザー資格認定事業実施規定」の改訂版が送られてきましたが、その内容は受講料の大幅減額です。養成講座受講者募集で一番の悩みはその受講費用で、誰でも気軽に勧められるものではありませんでした。

この規定変更で応募者が多くなること期待されます。人材が豊富で活動が活発になることが大切で、栃木健康協会の存在感アップにも役立つものと思われま

受講案内チラシの印刷が近日中に出来ま

講師活動について

従来講師活動は、講師養成班、講演促進班の定例的な勉強会、活動を行って来ました。このまま活動を続けるか否か先日の第一回研修部会会議にて検討の結果、講師活動の目指す目標を森山会長と研修部会長で検討し、明確にすべきのご意見がありました。

即ち、地域の老人会的な所での活動にとどまるのが、専門的な講師とも組んで講演が出来るまでを目指すかを明確にすることです。この検討結果は後者を選びました。地域的な小さな集まりにも参加を

続けながら、もっと高度な内容の要求される講演にも応えらるる講師を目指し、研鑽したいと考えます。

勉強方法については、今後具体化しますが、自分の講演テーマの設定時間で栃木健康協会の実体験や他所での健康生きがいきづくりに係る講演情報を得て、それを聞きに行くとか参考書をテキストに勉強会をする等考えて行きたいと思

平成二十一年度

「健康生きがいきづくりアドバイザー」養成講座開催要領

栃木県健康生きがいきづくり協議会では、次の通り平成二十一年度「健康生きがいきづくりアドバイザー」養成講座を開催致します。

日程

十月三日(土)より十一月十四日(土)まで全5回

会場

宇都宮市 東北地域の1ヶ所での実施を予定しています

定員 二十名

先着順に受付し定員に達し次第締め切ります

受講料 三万円

他に東京で開催される資格認定研修会への参加と資格登録のための費用がかかります

申込問い合わせ先

八月三十一日まで当協議会事務局まで電話・FAX(0287-37-3431)でご連絡ください

申込書を別途お送り致します。

新入会員紹介

健康生きがいづくりを推進する

田部井 一男



自分の個人的な考えで会社を早期に退職し、その後、自史の発行「シルバー大への入学」二つのクラブ活動「ふれあいサロンのサポーター」「ピカピカワンセラー」の一年間研修クラブ部長「ねんりんピック実行委員長」「長寿社会への主張」コンクールカラーコーディネーター 受験等に慌たしく取り組んできました。

シルバー大を卒業するのを機に、「パンプレットの内容を理解して健康生きがいづくりアドバイザー」研修を受講することに決めました。それ以前にも三年に一つ位は資格取得に挑戦してきましたが、今回は通信教育ではなく研修会を受けての受験と言つ事で、つもより気軽に挑戦することができました。

シルバー大を卒業した後は、卒業生が作ったダンスクラブに所属し、教師の補助を務めながらクラブ員と月一回のダンスパーティーを楽しんでいます。ダンスは十年前から別のクラブにも所属して楽しんでおり、運動不足には不自由しない状態です。また、絵画クラブにも入会して趣味の一つとして楽しんでいます。最近では三年ぶりに元の会社から新入社員に対して「社会人としてのマナー」研修を実施してほしいと依頼があり、久々に仕事人としての空気を味わってきたところ



更に、今年も長寿社会への主張コンクールで発表する機会を頂き、タイトルと同じようなテーマ発表することができました。六月には県民の日のイベントを県庁でとつ事で、昔のおもちやと昔あそびのブース責任者として、メンバーの協力を得ながら盛況のうちに終えることができました。

最後に、継続して取り組んでいる「ふれあいサロン」ボランティアは今年で三年目になりますが、これまでの何れの取り組みも、健康生きがいづくりアドバイザーに関連する項目ですので、今までの体験を参考にしながら、生きがいづくりの啓発に努めていきたいと思っています。

入会のご挨拶

鴛田 文子



このたび、栃木県健康生きがいづくり協議会に入会させていただきました、ありがとうございます、ありがとうございます、ありがとうございました。

私は、通信教育の学びの中で、この健康生きがいづくりアドバイザーのことを知り、第62回健康生きがいづくりアドバイザー資格認定研修会を受講しました。その会では「麻姑の手の会」という同期会が発足しました。

また、今回の栃木県健康生きがいづくり協議会に入会させていただき、何ができるのか、何をしたらよいか実のところわからずいます。前回、出席させていただき、会員の皆様の活躍に圧倒されているのが実感です。

これから、私に何ができるのか不安ですが、これからの社会に向けて、何を発信できるのかをよく考えながら、皆様のご指導を頂き、少しずつ進められたいと思っております。今後ともよろしく願います。

入会のご挨拶

大島 清子



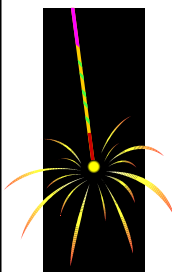
シルバー大学北校を、昨年九月に卒業する時、先輩のFさんより、アドバイザーの資格を採つたらと進められ、何の考えも持たず、抵抗も無く、健康生きがいづくりアドバイザーがどんな組織で運営され、またどの様な活動をされているのかも調べる事もせず、受講の申し込みをしたのでした。いつもそうなのです。全ての行動において私は、軽くよく考えたりせず、すぐ行動に移してしまふのです。

受講時間は少なく、勉強する科目は多く、いざ試験となると、かなりプレッシャーがありました。講義をしてくださる先生方も、ご自分の勉強方法など、それぞれの方法で親切に教えてくださいました。結局それをトータルすると、教科書全部覚える必要があったのでした。十二月の第一回の試験、車の免許を取った時以来の試験。

老化の性ばかりでは無いでしょう。教科書四冊、覚えるのに、大変でした。振り返れば此のために、私なりに頑張ったことは、勉強嫌いな自分に何か精神的に変化があり、プラスになったと思つていて。二月の研修及び試験に、東京会場に行つて更に私が驚かされた事は、私を除く参加者の殆どの方が、色々な方面で活動され、またやる気もいっぱい。凄い。刺激というより、自分の何も無い事に、心ばかりが痛んだ。

こんな少し傷心気みな、健康生きがいづくりアドバイザーの何も判っていない者ですが、新会員として、お仲間に入れていただきました。ご一緒できることがたいへん嬉しくおもいます。

これからは、出来る範囲で勉強も含め、活動出来るよう努めます。皆様のご指導を宜しく願います。



【知る栃・オトナの探勝会】を開催

二〇〇九年度最初の事業部会イベントとして六月二十六日(金)知る栃・オトナの探勝会を観光ガイドと巡る蔵の街とあじさい鑑賞」というテーマで開催し、栃木市を訪れました。第一回目の開催でしたが、栃木健康生協会員が七名、会員が誘って頂いた方々五名の合計十二名と多くの参加者がありました。

このイベントは、私達の活動拠点である栃木県について知っているようで案外知らない事が多いのではないかとと思われることから、観光ボランティア組織がある地域を選んで訪問し、楽しみながら栃木県への理解を深めることを目的にしています。



開催当日は梅雨の最中にもか

かわらず晴天に恵まれ、適度な風もありましたので、絶好のイベント日和でした。大平山のおじさい坂では多くの人で賑う中、丁度見頃のあじさいを鑑賞することができました。

「蔵の街」巡りは横山郷土館の見学、昼食のあと、栃木市の観光ボランティア、林さんの楽しいトークでの案内を頂きながら、県庁堀跡、塚田歴史伝説館、とちぎ山車会館、あだち好古館、岡田記念館を巡りました。

その後、栃木健康生協会員の遠藤さんの紹介で様々なジャンルの美術品が展示されている岩下記念館を訪れ、優れた美術品を鑑賞する事が出来ました。

参加者からは、観光ガイドの案内があったので、蔵の街の素晴らしさを知る事ができ、有意義な一日でした。次回の開催も楽しみにしていますとの感想を頂きました。

次回は、十月に「野岩鉄道で行く紅葉狩りと水陸両用バスのダム湖めぐり」というテーマで開催します。

(事業部会 溝口清記)



山車会館前にて林さんの説明を聞く

同期会【如月49】 栃木大会を那須で開催

会報第9号で紹介された、健康生きがいきづくりアドバイザー49回生の同期会「如月49」の栃木大会が、健康生きがいき開発財団藤村事務局長の臨席のもと、5月24日、25日の2日間、那須温泉にて盛大に開催されました。



参加者一同
懇親会場にて

栃木県健康生きがいきづくり協議会は発足十周年を迎え、新体制のもとでより充実した活動を目指しております。この度、会報「健康生きがいきづくりとちぎ」第十号を会員の皆様の協力により発行することが出来ました。ありがとうございました。今後とも、会員各位の協力を願います。

編集後記

広報部会会報編集担当一同



この「如月49 栃木大会」の様子は、健康・生きがいき開発財団発行の「IKIGAI」104号(2009・9 20)で紹介される予定です

翌日は、八幡の満開のつじなど那須高原の観光を楽しむ事が出来た。次回「第3回大会」は神奈川県にて行うことが決定し、元気に再会を誓いました。

(大会会長 長尾嘉郎 記)

参加者は、新潟県7名、埼玉県3名、神奈川県3名、千葉県 北海道各2名、徳島県 岡山県 京都府 茨城県各1名、そして栃木県6名の同期生28名と、栃木健康生協会員4名も参加。